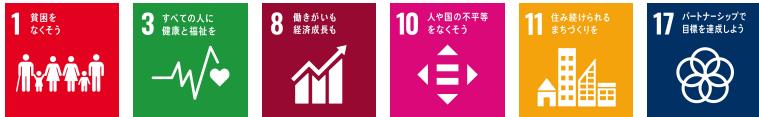


政策 02 いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

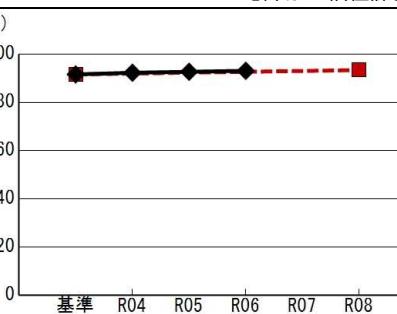
施策 04 障がい者（児）福祉の充実



あるべき姿

障がい者（児）が地域で安心して自立した生活をしています。

施策の成果状況と評価

指標	在宅でサービスを利用している障がい者（児）の割合（%）		【障がい福祉課】	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	R04実績			(向上)	(前年度)
指標の動き	91.5	92.2		(向上)		(向上)
	R05実績	92.6				(向上)
	R06実績	93.0				(向上)
	R07実績					目標達成度
	R08実績					
	R08目標値	93.3				

分析評価

在宅で福祉サービスを利用している障がい者の割合は、昨年度より0.4ポイント上昇し、基準値（91.5%）と比較して1.5ポイント上回っています。障がい者の状況に応じた福祉サービスの提供を行い、在宅の福祉サービス利用者の割合が増えたと考えられます。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 在宅福祉サービスの充実

指標	在宅福祉サービス利用者数(人)						対基準値	指標値の注釈	
	【障がい福祉課】							(向上)	
指標の動き	後期基準値	943	(人)	1,400			対前年度	分析評価	
	R04実績	1,083		1,200			対前年度	在宅福祉サービスの利用者は、計画値(1,151人)と比較して180人増加し、前年度と比較しても128人増加しました。	
	R05実績	1,203		1,000			対前年度	障害者手帳保持者の増加に加え、障がい者の状況に応じた福祉サービスの提供を行った結果、在宅福祉サービス利用者が増加したと考えられます。	
	R06実績	1,331		800			目標達成度		
	R07実績			600			目標達成度		
	R08実績			400			目標達成度		
	R08目標値	1,226		200			目標達成度		

基本事業02 療育相談・支援の充実

指標	適切なサービスを受けるために相談支援されていることの数(人)						対基準値	指標値の注釈	
	【保育課】							(低下)	
指標の動き	後期基準値	152	(人)	300			対前年度	分析評価	
	R04実績	176		250			対前年度	新規の相談支援もありますが、つつみ学園での相談支援事業の利用者は18歳までとなっており、就労支援への対応がスムーズな移行となるよう障がい者相談支援事業所に引き継いでいます。	
	R05実績	181		200			対前年度	相談支援事業所の新規参入やセルフプランに移行した方もいることが影響したものと考えます。	
	R06実績	90		150			目標達成度		
	R07実績			100			目標達成度		
	R08実績			50			目標達成度		
	R08目標値	281		0			目標達成度		

基本事業03 障がい者(児)の社会参加

指標	障がい者の就労者数(累計)(就労支援センター登録者のうち)(人)						対基準値	指標値の注釈	
	【障がい福祉課】							(向上)	
指標の動き	後期基準値	273	(人)	500			対前年度	分析評価	
	R04実績	367		400			対前年度	対前年度より就労者数が向上した要因は、障がいの特性をしっかりと理解し、適性に応じた支援を行ったことが、就労者数の向上に結びついたと考えます。	
	R05実績	347		350			対前年度		
	R06実績	350		300			目標達成度		
	R07実績			250			目標達成度		
	R08実績			200			目標達成度		
	R08目標値	400		100			目標達成度		

基本事業03 障がい者(児)の社会参加

指標	障がい者(児)の就労割合(就労支援センター登録者のうち)(%)						対基準値	指標値の注釈	
	【障がい福祉課】							(向上)	
指標の動き	後期基準値	50.3	(%)	80			対前年度	分析評価	
	R04実績	63.17		60			対前年度	対前年度より障がい者就労割合は若干低下しましたが、登録者の障がいの特性をしっかりと理解し、適性に応じた支援を行ったことが就労に結びついたと考えます。	
	R05実績	67.51		65			対前年度		
	R06実績	67.31		60			目標達成度		
	R07実績			55			目標達成度		
	R08実績			50			目標達成度		
	R08目標値	51.3		0			目標達成度		

基本事業04 市民啓発の充実

指標	啓発活動の回数（回）		【障がい福祉課】	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈	
	後期基準値	43			対前年度 ☀ (向上)	分析評価
指標の動き	R04実績	46	(回)	目標達成度 👑 (達成)	啓発活動の回数は基準値（43回）と比較して18增加、前年度と比較して1回増加しています。 前年とほぼ同様な啓発活動を行っていたことが考えられます。出前講座の実績は減少しましたがホームページの更新の機会は増加しています。	
	R05実績	60				
	R06実績	61				
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	50				

